

顔認証コネクトデバイス

LTC-T80TS/LTC-T80FS/LTC-LT80WTS/LTC-LT80WFS

セットアップガイド（製品の組み立て・初期設定のご案内）

このたびは顔認証コネクトデバイスをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
このセットアップガイドは本製品の基本情報と組み立て手順について説明しています。
裏面の取り扱い上の注意と併せてお読みください。本製品の詳細設定等を説明した
ユーザーズマニュアルは下記 Web をご参照ください。



製品について

顔認証コネクトデバイス LTC-T80/LT80 シリーズは、熱やマスクの未着用の検知と顔認証を、非接触・同時・高速・高精度に行うタブレット型の装置です。
本製品は医療機器ではありません。病気の予防や診断のための体温測定には医療用体温計をご使用してください。

付属品の確認

はじめに箱の中に以下のものがあることを確認してください。

- 【 共通 】
- 顔認証コネクトデバイス本体

1 台

■ AC アダプタ

1 個

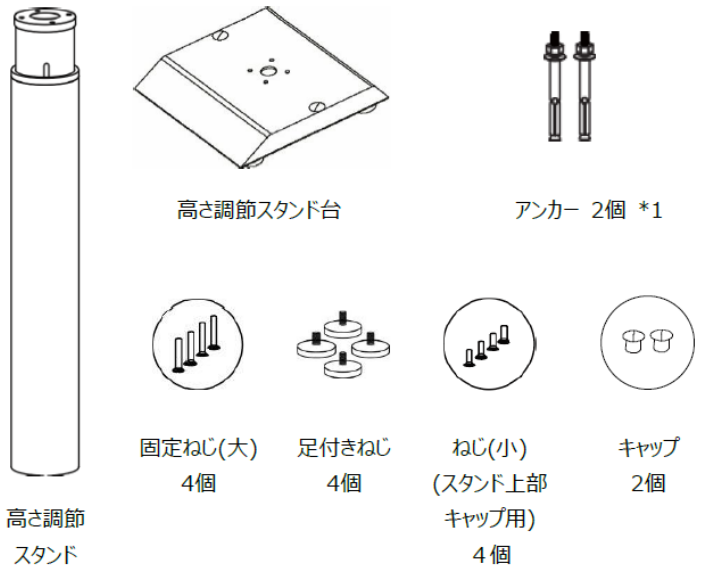
■ 端末固定リング（※）

1 個

■ セットアップガイド（本書）

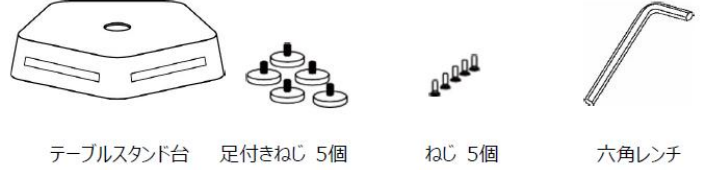
1 部
- ※本体のスタンド接続部に固定リングが取り付けられた状態で梱包されています。

【フロアスタンドモデル】



*1:コンクリート床への固定が必要な場合、高さ調整スタンド台のキャップ穴を通して使用します。実際の施工については専門業者等にご依頼下さい。

【 テーブルスタンドモデル 】



- 参考
- 本製品の組み立てにはプラスドライバーが必要になります。

• ねじ類は、スタンド等に取り付けられた状態または包装して同梱しています。

• 製品構成は性能や品質向上のために予告なく変更する場合があります。

主な製品仕様（全モデル共通）	
OS	Android™ 7.1.2（※）
システムメモリ	4GB
ストレージ	eMMC 16GB
ディスプレイ	8inch / 1280 x 800px タッチパネル
カメラ	RGB Camera(2MP)/IR Camera with LED(2MP)
Wi-Fi	IEEE802.11 b/g/n（2.4GHz）
Bluetooth	4.1
Ethernet	10 BASE-T/100 BASE-T 1 個
I/F	USB2.0 ポート 1 個、 サポートフォーマット FAT32/NTFS
その他 I/F	Relay 出力（RS-232C 及び Wiegand はサポート不可）
電源	AC12V/2A
温度測定距離	0.3m ～ 1m（推奨距離 0.5m）
温度測定範囲	32 ～ 42℃
温度測定誤差	± 0.3℃
顔認証時間	1 秒以下（最短 0.2 秒）
顔認証距離	0.3m ～ 1m（推奨距離 0.5m）
登録可能人数	最大 30,000 人
動作温湿度	5℃～35℃（温度測定時に推奨する周囲温度 25℃/湿度 60％）/0％～90％（ただし、結露無きこと）
入力電圧	AC12V/2A
消費電力	12W（Typical）
サイズ（W×D×H）	フロアスタンドモデル 340×340×1145～1540mm テーブルスタンドモデル 300×300×405mm
重さ	フロアスタンドモデル 約 7.8kg テーブルスタンドモデル 約 3.4kg

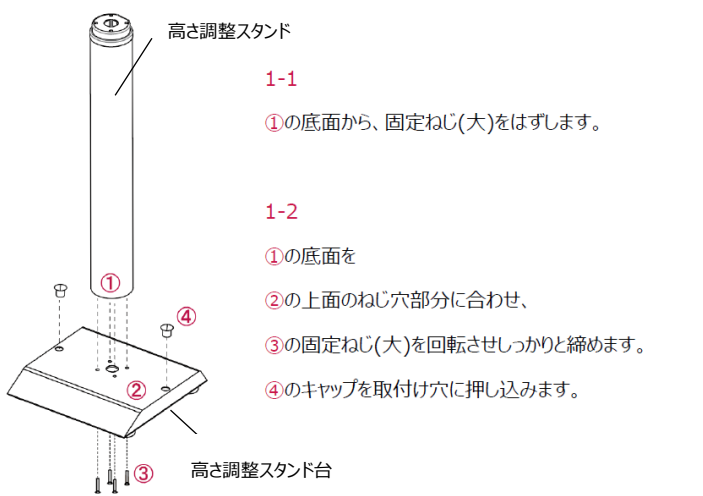
- ※ 本製品は Google Play に対応しておりません。
- ※ OS のバージョンは固定となります。
- ※ 顔認証およびサーマルカメラ以外の用途はサポート対象外となります。

製品の組み立て方法

<ご注意> 手袋をして、鋼版の切り口や角でケガをしないよう十分気を付けて作業をして下さい。安全を考え 2 人で作業し、不安定な場所での作業、不安定な場所への設置は避けて下さい。

【フロアスタンドモデルの組み立て方法】

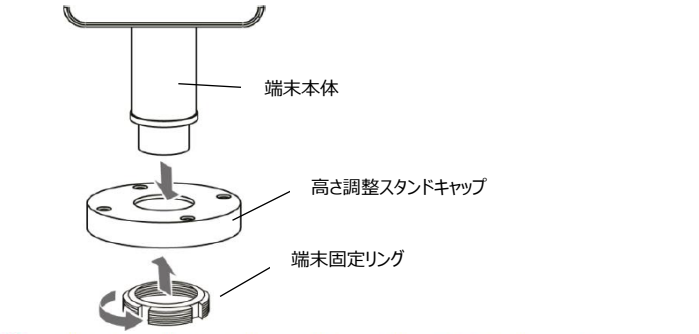
- 1 高さ調整スタンドとスタンド台を、以下を参照して組立てます。
- ※スタンド台は勾配が緩い方を前面にして、スタンドのインターフェイスが背面になるように組み立てて下さい。



- 2 端末の支柱下部のねじ部から端末固定リングを回してはずし、端末のケーブルから抜き取ります。
- 3 スタンド上部にあるスタンド軸キャップのねじを緩め、スタンド軸キャップをはずします。
- 4 端末のケーブルを、スタンド軸キャップと端末固定リングに下記の順に通します。



- 5 端末固定リングを、右回り(時計回り)に回して固定します。
- リングを固定する際、端末の向きを確認して下さい。端末正面の向きをスタンド軸のLEDのある面(正面)と合わせる必要があります。

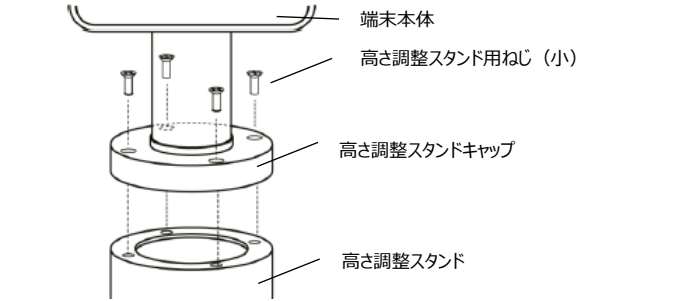


- 6 端末のケーブルをスタンド軸上部のケーブルに、下図の通りに接続します。
- ケーブル・ポートの詳細については、ユーザーズマニュアルの「付録C ケーブル・ポート」を参照して下さい。



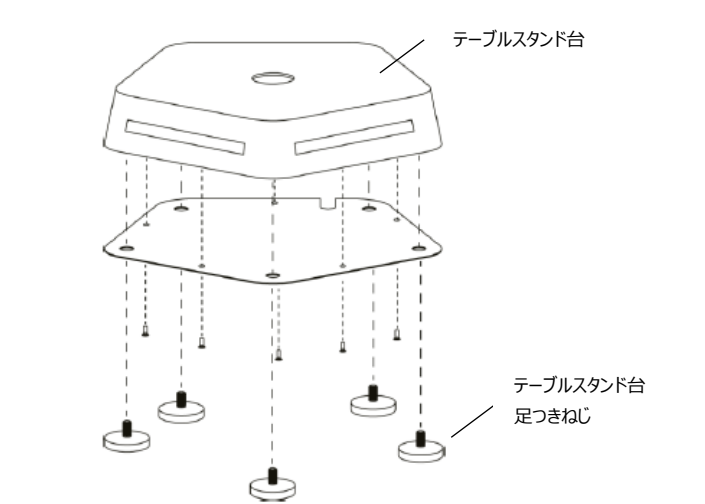
※USB2.0コネクタは「黄色のコネクタ」へ接続して下さい。

- 7 端末が取り付けられたスタンド軸キャップとスタンド軸を、ねじで固定します。

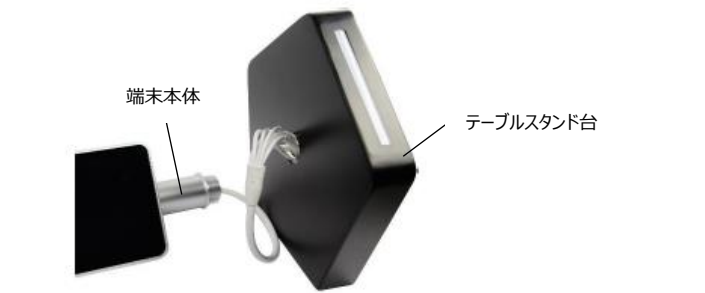


※本製品設置後にがたつきがある場合、足つきネジを回して水平バランスを調整してください。

- 【 テーブルスタンドモデルの組み立て方法 】
- 1 足付きねじ(5個)とねじ(5個)を左回り(反時計回り)に回して、スタンド底面カバーをスタンド台から取り外します。



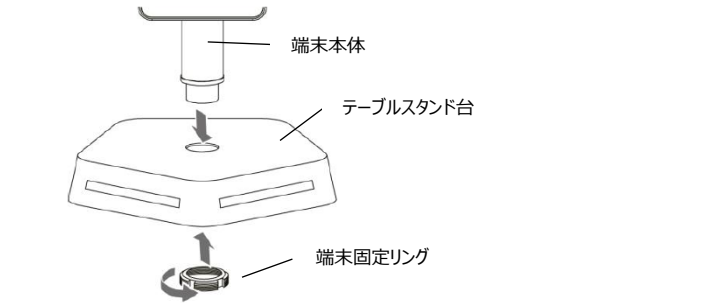
- 2 端末の支柱下部のねじ部から端末固定リングを回してはずし、端末のケーブルから抜き取ります。
- 3 端末のケーブルをスタンド台の穴に通します。



- 4 端末のケーブルを端末固定リングに通します。



- 5 端末固定リングを、右回り(時計回り)に回して固定します。
- リングを固定する際、端末の向きを確認して下さい。端末正面の向きをスタンドのLEDのある面(正面)と合わせる必要があります。



裏面へつづく

6 端末のケーブルをスタンドのケーブルに、下図の通りに接続します。

ケーブル・ポートの詳細については、ユーザーズマニュアルの「付録C ケーブル・ポート」を参照して下さい。



※USB2.0コネクタは「黄色のコネクタ」へ接続して下さい。

7 スタンド底面カバーを、ねじ位置を合わせた後、足付きねじ(5個)とねじ(5個)を右回り(時計回り)に回してしっかりと固定します。

※スタンド台はLEDを前面にし、インタフェースが背面になるように組み立てて下さい。

※本製品設置後にがたつきがある場合、足つきネジを回して水平バランスを調整してください。

【ご注意】
(1)本製品は電源投入後、30分のアイドリングが必要です。30分以内は測定結果が安定しませんのでご注意ください。
(2)本製品は赤外線熱検知測定方式を採用しているため「製品本体画面に直射日光や照明などの光、エアコン等の熱や風が直接あたる場所」など測定精度に影響を及ぼす設置場所を避けて下さい。
(3)温度測定の推奨環境：測定距離 0.5m（画面の測定位置ガイドラインに収まるように顔を合わせる）、周囲温度25℃±2℃ / 湿度60%±5%
(4)本製品は医療機器ではありません。測定結果にばらつきがある場合や発熱の疑いがある場合は医療用体温計で再測定を行い医療機関等へご相談下さい。

製品の初期設定方法

■ユーザー名・パスワードの初期設定

本製品付属の専用ACアダプタをコンセントに挿し製品背面の電源ボタンを押してください。端末の初回使用時に電源を入ると、アカウント設定画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを設定して下さい。

- ユーザー名(半角英数字4～12桁)を設定します。
- パスワード(半角英数字4～12桁)を入力して、確認のため[パスワードの再入力]にもう一度入力します。桁数や文字列が一致しない場合はエラー(!)が表示されますので再入力をお願いします。
- [アカウント設定]ボタンをタップします。



- ライセンス確認のため画面下に「確認中」の表示がしばらく表示されます。確認が終わると表示が消え、右図の待機画面になります（通常この画面で顔認証や熱検知を待機します）。
- 右上にある[設定]アイコンをタップします。



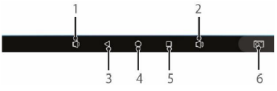
- 【手順1～2】で設定した、ユーザー名とパスワードを入力して[確認]をタップします。



■ナビゲーションバーの使用方法

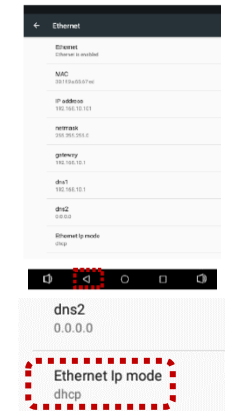
端末の画面下部を上へスワイプすると、ナビゲーションバーが表示されます。

- 端末の音量を下げます。
- 端末の音量を上げます。
- 前の画面に戻ります。熱検知アプリ実行中にタップすると、アプリを終了できます。※通常は熱検知アプリを終了せずに製品を使用して下さい。
- 基本メニュー画面に移動します。
- 最近実行したアプリ一覧を表示します。
- 現在の画面のスクリーンショットを保存します。



■端末設定（ネットワーク設定）

- [端末設定]をタップします。
- [端末名]を入力します。「空欄」で設定の必要が無い場合は本設定をスキップできます。
- 「有線LAN」の場合は次の手順「4」へ、「無線LAN（Wi-Fi）」の場合は手順「5」を参照して下さい。「接続しない」場合は本設定をスキップできます。
- 「有線LAN」の設定…画面上「ネットワーク」の[変更]をタップします。



入力内容が反映されたら設定は完了です。画面下から上へスワイプしナビゲーションバーを表示させ「戻

る」をタップします。「端末設定」画面へ戻りますので「6.音声案内の設定」へ進んで下さい。

- 「無線LAN」の設定…画面上「ネットワーク」の[変更]をタップします。

- 接続したい無線LAN（Wi-Fi）の「SSID」をタップします。

- IPアドレスを「固定」にしたい場合③へ進みます。自動（DHCPサーバ）を使用する場合は、SSIDに接続するためのパスワードを入力して[接続]をタップします。

設定したSSIDに「接続済み」と表示されれば設定は完了です。画面下から上へスワイプしナビゲーションバーを表示させ「戻る」をタップします。「端末設定」画面へ戻りますので「6.音声案内の設定」へ進んで下さい。

- IPアドレスの取得を「固定」にしたい場合、詳細設定項目の「DHCP（初期値）」をタップして[静的]をタップします。

- 「静的」を選択すると、詳細設定項目が表示されますので以下の内容を入力して下さい。※静的…固定IPアドレスのことを意味します。(ア)SSIDに接続する[パスワード]を入力します。(イ)「固定IPアドレス」を入力します。(ウ)「ゲートウェイ」の[IPアドレス]を入力します。(エ)最後に[接続]をタップします。

設定したSSIDに「接続済み」と表示されれば設定は完了です。画面下から上へスワイプしナビゲーションバーを表示させ「戻る」をタップします。「端末設定」画面へ戻りますので「6.音声案内の設定」へ進んで下さい。

- 「音声案内」の設定をします。初期値は「ON」です。

- 音声の種類を[男性（初期値）]か[女性]を選択します。

- 「警告LED表示（初期値：ON）」の設定を行います。

- アクセス履歴の「保存期間」の設定を行います。選択肢は「2週間」「1ヶ月」「2ヶ月」となります。

- 「アクセス写真の保存（初期値：OFF）」の設定をします。顔認証に関わらず温度測定したユーザーの顔写真を撮影して保存します。



端末設定で行った設定情報を保存します。画面左上の[<]をタップします。前の画面に戻ると設定は自動保存されます。

■端末運用モードの設定

- [端末運用モード]をタップします。

- [顔認証（初期値：ON）]を設定します。熱検知のみの運用を行う場合はOFFにして下さい。ONにした場合、ユーザー登録が必要になります。ユーザーズマニュアル「端末でのユーザー登録」を参照して登録をして下さい。

- 「熱検知（初期値：ON）」の設定を行います。熱アラーム（初期値：ON）や警告音（初期値：OFF）も必要に応じて設定して下さい。

- 「熱検知温度(初期値：37.5℃)」の設定を行います。

- 「測定温度補正」は必ず「ON」にして使用して下さい。

- 「測定温度オフセット」は夏場・冬場など環境温度で測定結果が安定しない場合に設定して下さい。詳しくは「温度測定結果が安定しない場合」を参照して設定して下さい。

- 「マスク検知（初期値：ON）」の設定を行います。「未着用アラーム（初期値：ON）」や「警告音（初期値：OFF）」も必要に応じて設定して下さい。

端末設定で行った設定情報を保存します。画面左上の[<]をタップします。前の画面に戻ると設定は自動保存されます。

■端末運用を開始する

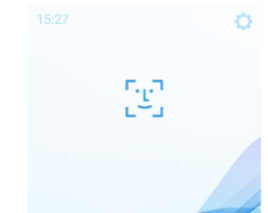
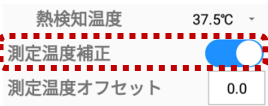
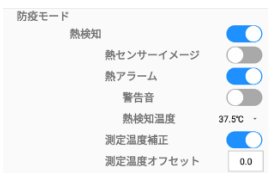
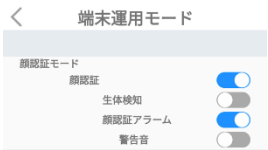
画面左上の[戻る]をタップすると、顔認証・熱検知の待機モードになります。最後に製品が動作するか簡易チェックのため、製品前に立ち熱検知を行いアプリケーションが動作することを確認して下さい。また、電源投入後、30分のアイドリングが必要です。30分以内は測定結果が安定しませんのでご注意ください。

■温度測定結果が安定しない場合

以下の「設置条件」や「測定温度オフセットの設定方法」を参考に設置方法や設定を調整して下さい。

【設置条件】

- ・「屋内」に設置する
 - ・「光源」がカメラに写り込まない場所に設置する（太陽光、逆光など）
 - ・「熱源」がカメラに写り込まない場所に設置する（蛍光灯の下、電気製品、太陽光があたる床、壁など）
 - ・「風」のない場所に設置する
- 設置条件を確認の上、顔を画面のガイドラインに合わせ正しい距離で測定して下さい。



※設置条件は一般的にサーマルセンサー（カメラ）で共通する内容です。
※夏場や冬場は屋外から入って直ぐに測定すると高温になるなど安定しません。測定前に 1～5 分程度待ち、室内温度に慣れてから測定して下さい。

設置条件を満たしていても季節や時間帯に応じ周囲温度の高低によって温度測定結果が平熱より高く測定されたり低く測定されたりする場合があります。この場合は次の「測定温度オフセット」の機能を設定することで測定結果の補正を行うことができます。

【測定温度オフセットの設定方法】

製品仕様 の環境条件で測定いただくことが難しい場合は、誤差を測定温度オフセットで補正します。本製品で何名かの実際に測定された温度と、医療用の体温計で測定した値を比較して誤差を測定温度オフセットに入力して下さい。

- 手順① 製品本体で 5～10 回検温して平均値を算出してください（例：36.7℃）
手順② 校正が取れている体温計で同様に検温して平均値を算出（例：36.4℃）
手順③ ①と②の測定温度差を算出してください（この場合は-0.3℃）。この値を測定温度オフセットに入力して下さい。

【各種マニュアル・ソフトウェアの入手方法について】

■顔認証コネクトデバイスの顔登録・顔認証ガイドライン

顔登録方法について説明しています。顔登録方法は製品本体カメラからの①個別登録、製品の Web 管理画面からの②個別登録、③一括登録があります。各方法の認証率の高さは、①> ②③となります。②③は製品本体カメラ以外のカメラを使用して撮影された顔写真となり、一定の条件を満たさない場合、認証率が著しく低下する可能性があります。



顔登録・顔認証ガイドラインのダウンロード URL
https://dl.logitec.co.jp/downloadfile/DLfile/LST-M/ltc_kao.pdf
※左記 QR コードからもアクセスできます。

■本製品の詳細設定は下記ユーザーズマニュアルご参照ください。



ユーザーズマニュアルのダウンロード URL
https://dl.logitec.co.jp/downloadfile/DLfile/LST-M/ltc80_um_365.pdf
※左記 QR コードからもアクセスできます。

■旧顔認証アプリ「Alchera」から新顔認証アプリ「HL365」への移手順について

既に Alchera-ACS で運用しているお客様が対象となります。HL365 は、継続してアップデートを行い、より便利な機能を追加していきます。Alchera-ACS からの移行をお勧めいたします。

【ご注意】

- Alchera アプリをアンインストールすると、元に戻すことはできません。
- マスタースレーブ機能で運用されているお客様は HL365 v3.12 以上のバージョンで再設定する必要があります。
- Alchera でパスワードを設定していない場合、データ移行後にユーザー編集を行うとパスワードを設定する必要があります。
- Alchera から移行できるデータは、①ユーザー番号、②名前、③組織情報（大分類名・中分類名・小分類名・詳細分類名）、④顔情報（登録顔写真及び顔認証用データ）、⑤パスワード（HL365 v3.12 以降）です。
- ユーザー登録情報の移行後に顔認証するためには、移行したユーザー情報に対して Web 管理画面から「アクセスする端末」を設定する必要があります。
- HL365 と Alchera を同時に使用することはできません。Alchera をアンインストールしない場合はライセンス違反となりますので注意が必要です。
- HL365 v2.04 をご利用のお客様は、始めに HL365 v2.04 をアンインストールしてから、正式版の HL365 v3.12 以降をインストールして下さい。
- V2.04 からユーザー情報や設定情報は引き継ぐことができませんのでご注意ください。



顔認証ソフト「HL365」移行手順書 URL
https://www.logitec.co.jp/products/thermalcamera/Android_APK/doc/HL365_ikou_um.pdf
※左記 QR コードからもアクセスできます。

■当社が指定する勤怠管理システムとの打刻データ連携について

本製品を勤怠管理のタイムレコーダーとして使用する場合、打刻データを勤怠管理システムへ登録するためのデータ連携ツールが必要です。データ連携ツールのダウンロードは下記 Web から利用申請を行って下さい。申請後に送信される URL からダウンロードの手続きをお願い致します。



打刻データ連携ツール利用申請フォーム URL
https://dl.logitec.co.jp/download.php?pn=LST-D-944
※左記 QR コードからもアクセスできます。

【重要！】バックアップに関するご注意

- 顔認証アプリ HL365 のバックアップと復元について
バックアップと復元を行う場合、バックアップの HL365 のバージョンと、復元先の HL365 のバージョンを同じにする必要があります。異なるバージョン同士で復元を実行すると、製品の一部の設定情報が復元できません。
- 顔認証アプリ HL365 のアップデート後は必ずバックアップを作成してください。
HL365 のバックアップと復元先のバージョンを同じにするために、HL365 のアップデート後に必ずバックアップの作成をお願いします。また、HL365 には「定期バックアップ」機能があります。万が一のデータ消失に備えて定期バックアップ機能を利用することをお勧めいたします。

取り扱い上のご注意

- 本製品を正しく安全に利用するために
 - 本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
 - 本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管してください。
- 表示について
この「取り扱い上のご注意」では以下のような表示（マーク）を使用して注意事項を説明しています。内容を理解してから、本文をお読みください。

- 警告**
この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
- 注意**
この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
- 三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。
- 丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば左図のマークは分解を禁止することを意味します。
- 塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは必ず実行していたく（強制）内容のことを意味します。

- 警告**
 - 万一、異常が発生したとき。
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに USB ケーブル、AC アダプタを抜いて当社指定のサポート窓口にご相談ください。
異物を入れないでください。
 - 通気孔などから、金属類や燃えやすいものを入れないでください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。万一、異物が入った場合は、ただちに電源を切り、当社指定のサポート窓口にご相談ください。
 - 分解しないでください。
本書の指示に従う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。特に電源内部は高電圧が多数あり、万一、触れると危険です。AC コードはなるべくコンセントに直接接続してください。
 - タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。
不安定な場所に置かないでください。
 - ぐらついた台の上や傾いた所、振動、衝撃のある所に置く、落下や転落等からケガの原因になります。
 - 付属の AC アダプタ以外使用しないでください。
感電や火災、故障の原因になります。
 - 濡れた手で触らないでください。
本製品を濡れた手で触ると、感電や火災、故障の原因となります。
 - 電源プラグの接触不良やトラッキング。
ケーブル類は次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。・ケーブル類は根元までしっかりと差し込んでください。・ケーブル類はほごりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。
 - ケーブル類を大切に。
AC コードや USB ケーブルなどは必ず本製品付属のものを使用し、以下の点に注意してください。取り扱いを誤ると、感電や火災の原因となります。「ものを載せない」「引っ張らない」「押し付けない」「折り曲げない」「加工しない」「束ねない」「熱器具のそばで使用しない」雷が鳴るなど、電圧の状態が不安定なときには使用しないでください。データが消失したり、故障の原因となります。

- 禁止**
 - 装置の上に物を置かないでください。本製品の上に重いものや、水の入った容器類、または虫ピン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。故障や感電、火災の原因になります。
 - 本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないでください。機器を損傷する可能性があります。
 - 指定された電源で使用してください。ACアダプタは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。
 - 揮発性液体の近くでの使用は避けてください。
マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性液体は、装置の近くで使わないでください。装置の中に入って発火すると火災の原因になります。
 - ケーブル類の抜き差しには注意してください。
コネクタ類を差し込むとき、または抜くときは必ずコネクタを持って行ってください。無理にケーブルを引っ張るとケーブル類の一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
 - 長時間ご使用にならないときは、ケーブルを抜いてください。使用していないときにも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。・ケーブル類を抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。
 - LCD パネルが破損した場合は割れたガラスでけがをしないように十分注意をしてください。また、LCD パネルが破損すると、内部の液体（液晶）がもれることがあります。このような場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないように十分ご注意ください。万一、眼や口に入った場合は、速やかに水ですすぎ、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服についた場合は、アルコールなどでふき取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると皮膚や衣服を傷める可能性があります。
 - 日本国以外では使用しないでください。
この装置は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより、国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており、この装置は適合していません。

注意
高温・多湿の場所、長時間直射日光のあたる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用や保管は避けてください。

浴室・洗面台・台所の流し台・洗濯機など水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍や埃の多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

- 装置の梱包用ポリ袋はお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息の恐れがあります。
- コネクタ等の接続端子に手や金属で触れたり、針金等の異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。
- ケーブルは足などをひっかけないように配線してください。足を引っかけるとケガや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。
- 本製品の稼働中に接続ケーブルなどを抜かないでください。データの損失や機器の故障の原因になります。

ACコードについて本製品に添付されているACコードは本製品専用です。他の機器に利用しないようにしてください。

- LCD パネルに圧力を加えないでください。表示異常の原因となったり、LCD パネルの破損につながります。LCD パネルの表面に硬いものをあてたり、こすったりしないでください。LCD パネルの傷や破損につながります。
- 本製品が汚れた場合
本製品が汚れた場合は必ず本体の電源を切ってから、柔らかい布で軽くふいてください。揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。同じ画面を長時間表示させると、残像が残ることがあります。使用しない場合は電源を切ってください。

- 液晶モニタは膨大な数の薄膜トランジスタ（TFT）で構成されています。画面上で少数のドットに欠落、変色、発光が見られることがありますが、これは TFT 液晶技術に起因するもので、製品自体の欠陥によるものではありません。
- 地震対策について
地震などによる振動で装置の移動、転倒あるいは窓からの飛び出しが発生し、重大な事故へと発展する恐れがあります。これを防ぐため、地震・振動対策を専門業者に相談いただき、実施してください。
- 布やじゅうたん、スポンジ、発砲スチロール、ダンボールなど、保温性や保湿性が高いものの近くで使用しないで下さい。火災の原因になります。

- 本製品の設置や角度調整時、ネジや工具を使用して固定が必要な時など、指などをはまさないように気を付けてください。
- 本製品に記録された情報内容と、本製品とともに使用する記憶媒体に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合がごさいます。本製品が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いに十分ご注意ください。
- 本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

- 廃棄、譲渡時のデータ消去に関する注意**
ご利用の製品を廃棄等される場合には、以下の事項にご注意ください。端末本体を廃棄あるいは譲渡する際、記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。端末本体に記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」をおこなっただけではデータは消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアを使うことにより、消失したはずのデータが再生されることがあります。
- 端末本体内部のデータが第三者に流出することがないよう、全データ消去の対策をお願いいたします。また、端末本体上のソフトウェアを消去することなく譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾に抵触する場合がありますのでご注意ください。お客様のデータが漏洩することによる、いかなるトラブルも弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご承知おきください。

電波に関する注意事項

無線 LAN 接続時のセキュリティに関するご注意 お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です

本製品と iOS/Android 端末とは有線接続でつなぐ代わりに無線電波を利用して直接情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見る
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード等、本製品間で通信しているデータ内容を盗み見る行為を行われてしまう可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意がある第三者が無断で本製品を接続した iOS/Android 端末へアクセスし、共有フォルダ内の個人情報を取り出す（情報漏洩）等の行為を行われてしまう可能性があります。
- 本製品はこれらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますが、設定や運用方法によって上記に示した様な問題が発生する可能性があります。
- 従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、本製品をご使用の前に、必ずセキュリティに関する全ての設定をマニュアルに従って行ってください。
- なお、本製品の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られる事もありますので、ご理解の上ご使用ください。セキュリティ設定などについては、お客様ご自身で対処できない場合は、ロジテックテクニカルサポートセンターまでお問い合わせください。
- 当社ではお客様がセキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を充分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを勧めます。
- ※セキュリティの設定を行わず、または本製品の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティ問題が発生してしまった場合、弊社では、これによって生じた一切の責任を負いかねます。

- 電波に関する注意事項**
この機器の仕様周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- 1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、弊社 テクニカルサポートまでご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
- 使用周波数帯域 : 2.4GHz
変調方式 : DS-SS 方式、OFDM 方式
周波数変更の可否 : 全体域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能

免責事項

- 本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。
- 本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求などにつきましては、弊社でいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の仕様、デザインおよびマニュアルの内容については、製品改良のため予告なく変更する場合があります。
- お客様にて接続された機器やインストールしたアプリケーションと本製品の動作を保証するものではありません。これにより誤動作・故障・障害などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いかねます。
- 電源ボタンの操作方法以外の方法で OS システムが破損した場合は保証対象外となります。
- 本製品は壁や棚など設置するための付属品や取り付け金具を用意しています。取り付ける場所の安全の確保はお客様の責任において実施いただくとともに、本製品及び付属品、関連製品の設置から生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いかねます。
- 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込みなどは考慮されません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害などが発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- 本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社でいかなる責任も負いかねます。また、弊社は海外での（海外に対しても含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

保証規定

- 弊社が定める保証期間（本製品ご購入日から起算されます。）内に適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または同等品への変更を致します。
- 無償保証範囲
以下の場合には、保証対象外となります。
 - 1. 本製品購入の際の証明書（シート、納品書等/以下「購入証明」と表記）と、本製品をご提出頂けない場合。
 - 2. 購入証明など販売店・購入年月日の記載あるものをご提示いただけない場合。
 - 3. 購入証明に、偽造・改変などが認められた場合。
 - 4. 弊社及び弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による本製品の改造、分解、修理が行われている場合。
 - 5. 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
 - 6. マニュアル、文書、説明ファイルに記載の使用方法、及びご注意に反するお取り扱いによって生じた故障、破損の場合。
 - 7. 通常で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
 - 8. 本製品を購入頂いた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
 - 9. 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
 - 10. その他、無償修理または交換が認められない合理的事由が認められた場合。

修理規定

- 修理のご依頼は、購入証明を本製品に添えてお買い上げの販売店にお持ち頂くか、弊社修理センターに送付してください。
- 弊社修理センターへご送付頂く場合の送料はお客様ご負担となります。また、ご送付頂く際、適切な梱包の上、紛失防止のため譲渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用下さい。尚、弊社では運送中の製品の破損及び紛失については一切の責任を負いかねます。
- 弊社修理センターへご送付頂く場合、必ず「お客様のご連絡先(ご住所/電話番号)」「故障の状態」を書面にして本製品に添付して下さい。
- 保証期間経過後の修理については、お見積りへの必要の有無、及び修理限度額を明示の上、本製品に添付して下さい。
- ご送付頂く際の送付状況は大切に保管下さい。
- 修理、もしくは同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させて頂く場合がございます。
- 有償・無償に関わらず、修理等により交換された本製品またはその部品等は返却致しかねます。
- 記録メディア・ストレージ製品において、弊社修理センターにてドライブ交換、製品交換を実施した際にはデータの保全を行わず全て初期化致します。記録メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取って頂きますようお願い致します。
- 本規定における「故障」とは、本製品が本製品の仕様の定めとおりに機能しないことをいいます。外観損傷（本製品の傷や破損）は、保証対象外となりますので、外観損傷に対する修理・修繕は行いません。

個人情報の取り扱いについて

修理依頼、製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上、アンケート調査等、これらの目的のために関連会社または業務提携先に提供する場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示は行いません。お客様の個人情報は細心の注意を払って管理しますのでご安心ください。

サポート窓口のご案内（ナビダイヤル）

製品の技術的な質問や、取扱説明書の疑問点は、専用サポート窓口までお問い合わせください。

TEL. 0570-070-040 FAX. 0570-033-034

受付時間： 09:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 18:00

月曜日～土曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

修理センター窓口のご案内（修理品送付先）

郵送、宅配便にて修理を依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品を送付ください。

〒396-0111 長野県伊那市美すず 8268 番地 1000 エレコムグループ修理センター（3 番窓口）

TEL. 0265-74-1423 FAX. 0265-74-1403

受付時間： 9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

- 必ず、修理依頼書に「お客様のご連絡先（ご住所/電話番号）」「故障の状態」を書面に記述し製品と共に添付してください。修理依頼書は、Web サイトよりダウンロード可能です。また修理に関するご説明やお願いを掲載しています。
修理依頼書がダウンロード出来ない場合には書面に記載の上添付してください。
- 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担です。
- 修理を依頼される場合は、保証書及び納品日が判別できる物（納品書のコピーなど）を製品に添付してください。
- 保証期間経過後の修理については、お見積りの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示の上、製品に添付してください。
- ご送付の際は、製品が梱包されていた箱、梱包材を使用しお送りください。
- お送りいただいた修理依頼書と運送会社のお問い合わせ番号等は必ずお手元にお控えください。

保証期間

1 年

※レシートや納品書など購入証明書はご購入日を証明する書類となりますので本書と併せて大切に保管願います。

⚠データの取り扱いについて

万一、答案等により製品本体の記憶装置にあるお客様の個人情報が流出した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。大切なデータを管理するため、盗難防止など、必要な措置を講じておようお願いいたします。
製品や製品に記載された記憶装置は消耗品です。不適切な使用や電氣的ノイズ、静電気による障害、強い衝撃、落雷などの天変地異により故障する場合があります。重要なデータは万一に備えて必ず他のメディアにバックアップを取っておくようお願いいたします。不適切な使用や故障の結果生じたデータの直接的または間接的な損害については、弊社では一切の保証をいたしません。本製品を使用したデータの消失については、いかなる運用形態にかかわらず、弊社では一切その責任を負いません。

- 本書の著作権は、ロジテック INA ソリューションズ株式会社が所有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載する事を禁止させていただきます。
- 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、ロジテックテクニカルサポートセンターまでご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物質または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft 社の登録商標です。その他本書または関連文書に掲載されている商品名、社名などは、一般に商標ならびに登録商法です。
- Mac、Mac OS、Macintosh は、Apple Inc.の商標です。
- 「Android」、「Android ロゴ」は Google LLC の登録商標です。
- その他、本書または関連文書に記載されている商品名、社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。